

名古屋大学教育学部 2008年度 後期
教育方法学講義I
- 教育方法概論 -

第7回 講義資料 W

担当 柴田好章 (教育方法学・准教授)

体験を通して学ぶことの意味は何か？ (1) —体験学習の事例分析—

本日の授業の目標

○体験学習の事例 (テキスト6章) を分析することを通して、体験を通して学ぶことの意味を考察する。

<学ぶ>ことの原点としての<体験>

体験学習の思い出を振り返ろう

ペスタロッチの教授法 (現代教育方法事典より)

J. H. ペスタロッチ (1746~1827) の教授法は、一般的には「_____」と呼ばれる。

ペスタロッチは「_____そのものの_____こそが、人間的教授の真実の基礎」

教授の出発点が_____や_____にあることを_____。

「_____」は、「(教授対象を) できるだけ多くの_____にさらすこと」(_____) や

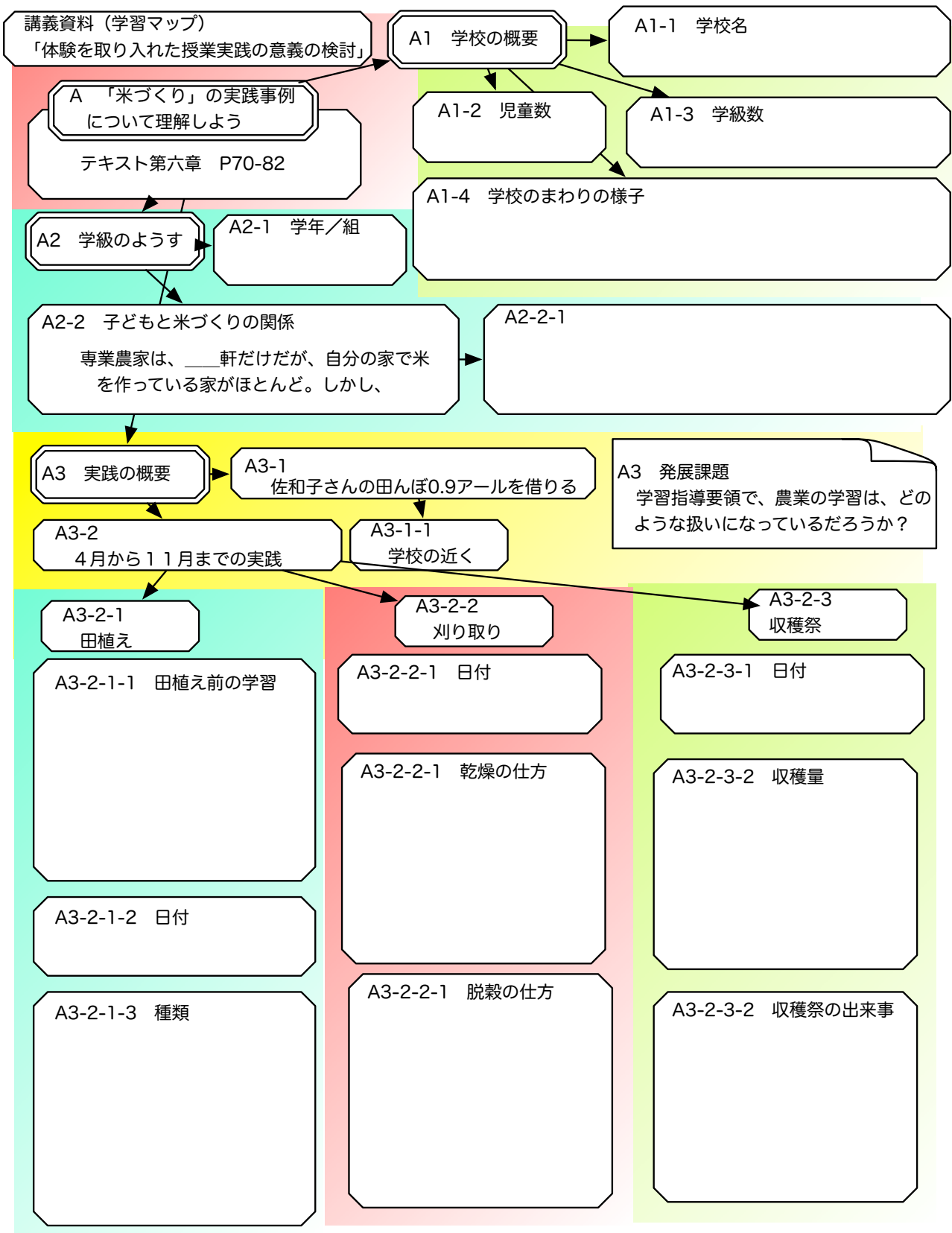
「_____を通しての学習」(_____) として理解されることもある。

「_____の ABC」

日本でも「_____」 「_____」として展開。

[参] ペスタロッチ (長尾十三二・福田弘訳) 『ゲルトルート児童教育法』明治図書, 1976. ヘルバルト (是常正美監訳) 『ペスタロッチの直観の ABC の理念』玉川大学出版部, 1982. 吉本均 『学校教授学の成立』明治図書, 1986. (小野擴男)

テキスト6章



B よい経験とは何か？

B1 感想から

機械と手のどちらがよいのか？

B2

めったにできない経験

B3 日比裕の 温かい経験と冷たい経験

発展課題

温かい経験と冷たい経験の例を考えよう